

# 自分らしく沼田に暮らす



八幡フィリップさん  
-アメリカ-

自身のルーツ大切に  
英語やハワイの文化伝えたい

2018年夏から沼田に暮らす八幡フィリップさんは、ALIT（外国語指導助手）として市内の高校に勤務しています。全学年を受け持ち、学校の英語指導に沿った形で、日本人教諭とともに教壇に立ちます。現在勤務している沼田女子高校では、英語部の顧問も務めています。「入学当初の1年生は緊張して表情が固いですが、慣れて気軽に話し掛けてもらうとうれしい」と笑顔。規則を守り熱心に学ぶ姿勢、礼儀正しきや勤勉さが日本人らしいと感じているそうです。

となり、日本文化に興味を持ち、自身のルーツを大切にすることをようになりました。沼田での暮らしは、自然が豊かで四季を楽しめることが1番のお気に入りといえます。スノーボードを楽しんだり、紅葉を見にハイキングに出掛けたりすることでリフレッシュしています。同時期にALITとして沼田へ配属になったネイトさんは、最も仲の良い友人。ともに趣味を楽しみ、近況を報告し合います。沼田の人にも親切にしてみたい、「みんな優しく居心地良い。同じ世代の友人ができればうれしい」と話します。

フィリップさんは日系4世で、ハワイに生まれ育ちました。曾祖父が新潟県、曾祖母が福島県の出身で、戦時中にハワイに渡って定住したといっています。周囲に日系人が多いため、自身に日本人の血が流れていることをほとんど意識せずに過ごしましたが、大学での日本語の専攻がきっかけ

フィリップさんの利根沼田地域の高校の契約任期は残り1年わずか。沼田の生活を満喫し、群馬に住み続けることを希望しています。今後の目標としては、「ハワイの文化やハワイと日本がつかないできた歴史を積極的に伝えていきたい」と意欲を見せます。



【写真右から】ハワイの家族（左から父、双子の姉、フィリップさん、母）／日光白根山をバックにスノーボードを楽しむ／ネイトさん（左）とともに元市国際交流員のティーネさん（中央）と親しくしていた